

第3—事業計画

1 事業展開の考え方

総合文化学習センター(仮称)は、生涯学習センター、図書館、芸術ホールで構成する施設ですが、それぞれが相互に連携・補完し合うことにより、「新たな交流と学習」「新たな創造と発信」「新たな協働と連携」を促進するとともに、市民自ら、夢を育み、成長しつづける施設とするため、市民が主役となる幅広い柔軟な事業展開を進めます。

2 具体的な事業展開

(1) 情報・相談事業

①市民の学習・芸術文化活動を支援するため、広範な学習情報、芸術文化情報、図書情報等の収集・蓄積を行います。求められるものが容易に検索できる情報システムを整備し、その情報を提供します。また、総合文化学習センター(仮称)事業の広報とともに、市民ニーズの調査や意見の収集も行い、双方向の情報交流を図ります。



②学習、読書、舞台芸術に関する相談機能を整備します。

[事業例] 学習・芸術文化情報の収集・提供、学習・読書・芸術相談等

(2) 図書館事業

①交通の結節点という立地条件から、周辺地域の住民のみならず、通勤や通学、買い物等で中心市街地を訪れる人々が、いつでも気軽に立ち寄って知識や情報を得られるような蔵書構成と図書館サービスを行います。

